



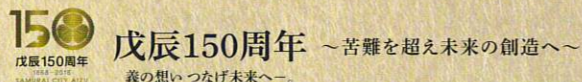
猪苗代湖より会津のシンボル磐梯山を望む

## 会津藩のお膝元 歴史と文化の街・SAMURAI CITY会津若松

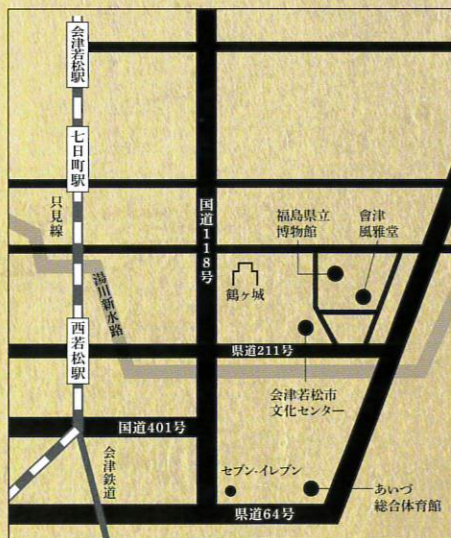
～あったんです。まだ、極上の日本が～

東北地方南部に位置する福島県は、中通り、浜通り、そして会津の3地域に区分され、それぞれ豊かな自然や文化によって「うつくしま」の魅力を形づくっています。中でも会津地方は、雄大な磐梯山や猪苗代湖、五色沼などの自然美に恵まれ、四季折々の姿で観光客を楽しませてくれます。

会津若松市は、その中心都市として古くより東北の要衝として栄え、蒲生氏郷公、上杉景勝公ら戦国武将が治めた後、白虎隊で知られる会津藩23万石の城下町として現在に至ります。鶴ヶ城をはじめとした名所・旧跡、湯量豊富な温泉、酒造や漆器等の伝統産業、伝統ある郷土料理などで、会津地方の観光の中心地にもなっています。

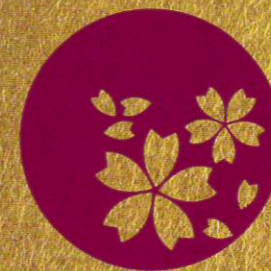


今から約150年前、日本の体制は大きく変革し、会津はその変換期の舞台となりました。「義に死すとも不義に生きず」という矜持を胸に、自らの正義を訴えるために、会津藩は戦いに臨みました。近代日本の幕開けは、新しい統一国家としての出発でもあり、そこには激しい抗争と変動がたえず、会津には戊辰戦争の悲劇がもたらされました。しかしながら、先人たちは、厳しい運命に雄々しく立ち向かい、多くの苦難と闘いながら、新しい未来を創造するために意欲と情熱を燃やし続けてきました。そして、先人による教育・文化・政治・経済などの多岐にわたる業績は、偉大な遺産として会津の中に脈々と生き続けています。



### アクセス

- [JR利用の場合]  
「東北新幹線」東京駅→郡山駅(約80分)、  
仙台駅→郡山駅(約40分)  
「磐越西線」郡山駅→会津若松駅(約65分)
- [東武鉄道・会津鉄道利用の場合]  
浅草駅→会津若松駅(約280分)
- [高速バス利用の場合]  
東京駅・新宿駅・池袋駅→会津若松駅(約270分)
- [車利用の場合]  
「東北自動車道」東京IC→郡山IC(約180分)、  
仙台宮城IC→郡山IC(約75分)  
「磐越自動車道」郡山IC→会津若松IC(約40分)
- [飛行機利用の場合]  
「福島空港」会津若松駅行リムジンバス(郡山駅乗継)(約120分)  
「新潟空港」新潟駅行リムジンバス  
新潟駅より会津若松駅行高速バスもしくは磐越西線(約140分)



観光地から感動地へ



全国商工会議所  
観光振興大会

2018 in

# 会津若松

「主催」日本商工会議所・  
会津若松商工会議所  
「共催」福島県商工会議所連合会

日程



5月 6日 6日~7日

会場

- 「エクスカーション」1泊2日コース  
日帰りコース
- 「分科会」会津風雅堂ほか
- 「全体交流会」あいづ総合体育館
- 「全体会議」会津風雅堂

## 地方都市の観光創造に向けて

地方の観光地は現在、加速度的に進行する人口減少そして経済低迷、さらに国内旅行の需要減少や観光そのものの質的变化を受けて、今後の展望が描きづらい共通の悩みを抱えています。こうした地方の観光地が持続可能な地域づくりに資するためには、従来型の受動的な「物見遊山」から脱却し、訪れた方が主体となって楽しみ、その心を揺さぶるような「感動の地」になることが必要ではないでしょうか。会津若松市は地方に位置する同じ観光地としてその思いを大会テーマに込めました。

最新の地域資源の磨き上げ方、各地の連携による周遊の在り方など、新しい観光の姿を共に探り、議論し、一緒に「感動地」への道を歩みましょう。平成30年は、戊辰戦争150周年の節目の年です。記念の年に開催できることを誇りに思い、皆様の素晴らしい「学びの場」となるように努めます。

大会スケジュール(予定)

### 5日(月) 全体会議 13:00~16:30

会場 会津風雅堂

- オープニング
- 開会式
- 商工会議所における観光振興の取組みについて
- 平成30年度「全国商工会議所きりぎり輝き振興大賞」表彰式
- 先進事例発表など

[基調講演]

「地方の観光地が持続するために」

[パネルディスカッション]

テーマ:

「都市部と地方観光地の共存が描く日本の未来」

- 会津若松アピール採択
- 次回開催地挨拶(金沢)

### 5日(月) 全体交流会 18:00~20:00

会場 あいづ総合体育館

四季折々の風情と色彩を醸し出す山国にあって、独自の文化を築いた会津の郷土料理をはじめ、全国新酒鑑評会で受賞蔵数5年連続日本一に輝いている本県の地酒など「ふくしま」の味をご堪能いただきながら、郷土芸能などのステージをお楽しみください。

### 6日(火) 分科会 9:00~11:00

会場 会津風雅堂、会津若松市文化センター、福島県立博物館

分科会全体テーマ:「地方都市の観光創造に向けて～地域が輝くために～」

#### ■ 広域連携が生む新しい観光の価値

競争から協同によって個の魅力を高める手法とは。先進の事例等をもとに広域連携の在り方を考えます。

#### ■ 地方のインバウンド大都市のインバウンド

今後の観光振興のカギを握るインバウンド。経済基盤が弱い地方都市が目指すべき方向とは。大都市と補完し合う連携策も探ります。

#### ■ 歴史資源を生かした観光地づくり

歴史ブームで注目される歴史資源。より良い観光資源にブラッシュアップするための手法を学びます。戊辰150周年を迎える会津だけに必聴です。

#### ■ 災害復興と観光～風評とその脱却～

東日本大震災は本県観光に大きな傷跡を残しました。特に風評との戦いは現在も続いています。これからの自然災害に備えて「福島県の今」をご覧ください。

#### ■ ICTと観光の連動

ビッグデータ、SNS、急激なICT技術の進展は、観光産業とも無縁ではありません。その最前線の取組と活用について議論します。

### 6日(火) エクスカーション日帰りコース 午後

#### ■ 戊辰150年 縁(えにし)ツアー

東西が未来を賭けて戦った会津。その歴史を体験するコースです。(鶴ヶ城、松平家廟所、飯盛山等)

#### ■ 商店街再生・まちなか観光ツアー

シャッター通りが大正浪漫の街に。活気あふれる今をご覧ください。(市内七日町等)

#### ■ 日本遺産「会津の三十三観音めぐり」体験ツアー

会津藩が生み出した、当時の観光振興策は、今もこの地で親しまれています。(中田観音、立木観音、鳥追観音=ころり三観音)

#### ■ 会津の水が支えた産業遺産ツアー

豊かな水は、電力となり日本を支えてきました。その遺構を訪ねます。(十六橋、猪苗代第二発電所等)

#### ■ 会津ICT・先端産業見学ツアー

ICT分野で日本の先端を走る会津大学や当地立地の企業をご覧ください。(会津大等)

### 6日(火)~7日(水) 1泊2日コース

#### ■ 仏都会津 満喫ツアー

徳一ら名僧が活躍した仏都会津。日本遺産に認定された名刹をご紹介します。(中田観音、立木観音、鳥追観音に加え、勝常寺、長床、宇内薬師堂等)

#### ■ 街道観光コース

初代会津藩主・保科正之公が開削した五街道。当所で取り組んだ街道観光ツアーから選りすぐりのコースをお楽しみください。  
①下野街道コース ②米沢街道コース ③二本松街道コース

#### ■ 復興ツーリズム

東日本大震災の教訓を後世へ。復興が進むインフラの様子も見学します。  
①郡山-福島-相馬コース  
②郡山-双葉-大熊-いわきコース

全国商工会議所  
観光振興大会

2018 in

会津  
若松

# 観光地から感動地へ